

## 臨海資源科学演習（8/8-12）のシラバスの一部変更について（重要）

1. 最終日 12 日（13：00～14：00）に北海道大学名誉教授 向井 宏 先生の講演が西条キャンパスで行われます。詳細につきましては、追ってホームページで公開いたします。
2. 講演後、解散場所は広島大学西条キャンパスに変更となります。その後、東広島駅、西条駅、広島駅、広島バスセンターへ送迎バスが運行されます。
3. JR 竹原駅に送迎バスは寄りません。

以上 3 点について、ご留意願います。次ページ以降にシラバスを記載しておりますので、お見逃しのないようにご注意ください。

中四国国公立大学連携フィールド演習実施計画書(H26年度)

授業科目名	(日本語) 臨海資源科学演習 (英語) Practice and Field Work in Fisheries Science					
担当教員名	大塚 攻	坂井陽一	小路 淳	富山 毅	加藤亜記	浦田 慎
所属大学	広島大学	広島大学	広島大学	広島大学	広島大学	広島大学
電話番号	0846-22-2362	082-424-7975	0846-22-2661	082-424-7941	0846-24-6781	0846-24-6780
E-mail (@hiroshima-u.ac.jp)	ohtsuka	sakai41	jshoji	tomiyaama	katoa	urata
授業形式	演習					
単位	2単位					
開設期	平成26年8月8日(金)～8月12日(火) 4泊5日					
開講場所	広島大学生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション					
キーワード	プランクトン、底生生物、魚類、食物連鎖、生態、形態、分類					
授業目標	瀬戸内海に生息する代表的なプランクトン、底生生物、魚類及び共生生物の種多様性、形態、分類、発生、行動、生態を深く学習することにより、内海生態系の特性を理解し、知識を応用展開できる能力を身につける。					
授業内容・ 計画等	瀬戸内海中央部において、プランクトン、底生生物(無脊椎動物、海藻類)、魚類、共生生物の様々な採集方法(小型船舶も使用する)及び個体識別、同定、標本処理などの技術を学んだ上で、それらの形態、分類、発生、行動、生態に関するデータの取り方、解析、解釈の技能、知識を培う。					
		1日目(8/8)	2日目(8/9)	3日目(8/10)	4日目(8/11)	5日目(8/12)
	午前 0900-1200		実習:藻場の魚類の生態I	実習:共生生物の観察	実習・講義:海藻の分類と生態II	発表会
	午後 1300-1700 (初日のみ 1400開始)	受講生到着(1330) 実習:プランクトン採集・観察	実習:藻場の魚類の生態II	実習:生野島フィールドワーク	実習:魚類の行動観察	講演(13:00-14:00) 課題提出 修了式
	夜 1900-2000	講義:プランクトンの分類と生態I	講義:藻場の魚類の生態	実習・講義:海藻の分類と生態I	講義・実習:魚類の資源生物学的分析	
夜 2030-2130	講義:プランクトンの分類と生態II		実習:磯生物の同定			
成績評価	受講態度・理解度 60点, 発表 40点で評価します。					
参考書等	大森信・池田勉(1976)、動物プランクトン生態研究法、共立出版; 千原光雄・村野正昭編著(1997)、日本産海洋プランクトン検索図説、東海大学出版会; 長澤和也編著(2004)、フィールドの寄生虫学、東海大学出版会; 桑村哲生・中嶋康裕編(1996,1997)、魚類の繁殖戦略1・2、海游舎; 中園明信編(2003)、水産動物の性と行動生態、恒星社厚生閣; 岩井保著(1991)、魚学概論第二版、恒星社厚生閣; 日本水産学会監修(2011)、浅海域の生態系サービス・海の恵みと持続的利用(水産学シリーズ169)、恒星社厚生閣; 岩槻邦男・馬渡峻輔監修、千原光雄編(1999)、藻類の多様性と系統、裳華房; 有賀祐勝ほか編(2000)、藻類学実験・実習、講談社サイエンティフィック; 今村健太郎(2008)、芸南の海藻、(財)蘭島文化振興財団					
メッセージ	この実習を通して瀬戸内海の主要水産生物の種多様性、生態的特性を理解することができるでしょう。学習した技能、知識を様々な水圏生態系へ応用展開ができる能力を身につけることができるでしょう。広島大学生物生産学部水産生物科学コース3年生と他大学の学生がともに学習することでお互いの切磋琢磨を期待しています。					

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受講人数：10名程度</li> <li>● 受講経費：1万円（派遣大学が負担）</li> <li>● 実費：1万円（学生負担分；授業期間中の食事費等を含む）を現地で徴収します。また、開催場所への旅費は自己負担です。</li> <li>● 履修の辞退について：辞退は原則できません。やむを得ず辞退する場合にはキャンセル料を頂きます。 キャンセル料:演習開始日から起算して5日前以降および実施期間中のキャンセルについては参加費一部(3千円)を払っていただきます。 キャンセル料の支払い方法：下記の連絡先に連絡した後、現金書留にて連絡先まで支払いをしてください。</li> <li>●傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険（財団法人日本国際教育支援協会）に加入しておいてください。この事に関する質問等については下記の間合先まで連絡してください。</li> <li>●集合日時：8月8日（金）13:30-</li> <li>● 集合場所、解散場所：広島大学生物圏科学研究科竹原ステーション 〒725-0024 広島県竹原市港町 5-8-1 ホームページ <a href="http://home.hiroshima-u.ac.jp/fishlab/">http://home.hiroshima-u.ac.jp/fishlab/</a> * 宿泊地および解散場所は竹原ステーションです。 * 竹原ステーションから徒歩圏内（約10分）にコンビニエンスストアがあります。食事に関しては、朝食、夕食は本学学生とともに準備・調理、昼食は弁当を用意します。 * 最終日の修了式の後（14：00 ごろ）に解散。バスにて JR 竹原駅、JR 東広島駅、JR 西条駅、JR 広島駅、広島バスセンター等（受講者数、構成によって変更になる場合があります）まで送ります。 * 遠方からの参加など特別な事情により、往復路（竹原ステーションから）のアクセスを確保できない場合は連絡先へ問い合わせてください。</li> <li>●各自持参するもの 医療保険証，船酔止薬，水着，作業着（長袖，長ズボン，帽子），デジタルカメラ（可能なら各自で持参），水に濡れても構わない運動靴など（足がすっぽり守られるものが望ましい：ダイビングブーツでも可），筆記用具，洗面具，タオル，身の回り品等 * ショートパンツ，ランニングシャツ，サンダル，スリッパ等では作業できません。</li> <li>● 注意事項：天候によっては日程の大幅な変更もありうることを了解ください。</li> <li>● やむなく欠席する場合は，<u>1週間前までに</u>所属大学学生係及び下記連絡先まで申し出て下さい。直前にやむなく欠席・遅刻する場合も，必ず下記の連絡先まで連絡して下さい。</li> <li>●問合先：広島大学大学院生物圏科学研究科運営支援グループ（総務・財務） 〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL 084-424-4376 FAX 082-424-2459</li> <li>● 連絡先：広島大学大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション（水産実験所） 〒725-0024 広島県竹原市港町 5-8-1 TEL 0846-24-6780 FAX 0846-23-0038 担当教員：(教授 大塚 攻) ohtsuka@hiroshima-u.ac.jp (技術職員 岩崎 貞治) siwasaki@hiroshima-u.ac.jp</li> </ul>
--------	---